

情報発信の際の注意！

ブログやブログ、掲示板で個人情報を公開する際の危険性！



携帯電話から手軽に自己紹介のページが作れる「**プロフィール**」と呼ばれるサービスや、個人の日記をインターネット上に公開する「**ブログ**」が中高生を中心に人気を集めています。利用者は男子よりも女子の方が多く、アクセス件数を増やす目的から、写真の掲載はもちろん、詳細な個人情報まで書き込む場合が多く見られます。最近では、こうした**個人情報**を悪用しての陰湿ないじめや、援助交際目的の利用、わいせつ画像の掲載等が問題化しています。



ポイント

1 個人が特定できる内容は気軽に書かない。写真を公開する場合の注意

- ・ ネット上に個人情報（氏名・住所・性別・生年月日・電話番号・学校名・年齢等）を書くことは大変危険です。ネットの向こう側には誰がいるかわかりません。多くの人に自分のプロフィールを見もらうために、個人情報や過激な言葉を書き込むと、犯罪に巻き込まれる危険性が高くなります。また、他人の個人情報を書くことも絶対にやめましょう。プロフィールに限らず、ブログ、掲示板、チャットでも、個人情報は書かないようにしましょう。
- ・ 友人と一緒に撮った写真を、その友人に無断でプロフィールに掲載してしまうケースがあります。他人の写真を無断でウェブサイト上に公開することは、肖像権の侵害にあたります。絶対にやめましょう。

2 個人情報が漏れてしまった場合の被害

- ・ プライベートな情報から、住んでいる場所や年齢、性別、学校が類推され、ストーカーに狙われるきっかけになる場合があります。
- ・ 悪質な業者に個人情報が漏れてしまった場合、その情報を基に迷惑メールや架空請求メール等が送られてきたり、振り込め詐欺のターゲットにされてしまう可能性があります。そのほかにも下記のようなトラブルが考えられます。

個人情報の流出で遭遇する可能性のあるトラブル

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| ■ 迷惑メール | ■ 架空請求詐欺 | ■ フィッシング詐欺 |
| ■ クレジットカード詐欺 | ■ ひぼう・中傷 | ■ ネットストーカー |
| ■ 名誉き損 | ■ 振り込め詐欺 | ほか |

3 もしもトラブルに遭遇してしまったら

- ・ 一人で悩まずに、先生や両親、警察に相談しましょう。

情報発信の際の注意

<用語解説>

● プロフ

「プロフ」とはプロフィールの略で、携帯サイト上の記入式ホームページをさします。利用者は男子よりも、女子の方が多いです。「前略プロフィール」や「マイプロフィール」等のサービスが、よく知られています。そこには名前、年齢、住所、血液型から好きな食べ物やタレントまで、多種多様な質問事項が用意されています。その数は40～100項目にも及びますが、入力すると自動的に自己紹介のページが出来ます。彼女たちの多くがきょうめんに、すべての項目に答えを書き込み、トップには当人の顔写真が掲載されています。このページに日記のように書き込んだり、見た人が返事を書いたりすることができるサイトです。「プロフ」の個人情報を使って、別人になりすまして、いじめや詐欺等、犯罪に利用するといったこともあり、注意が必要です。

● 個人情報

個人情報とは、氏名・住所・性別・生年月日・電話番号・勤務先・年齢等、個人を特定できる情報や、他の情報と組み合わせることにより個人を特定できる情報のことをいいます。これらの個人情報が漏れた場合には、プライバシーの侵害等、本人の意思に反する使い方をされる可能性があります。

消費者の個人情報は、事業者にとっては経済的な価値があるため、様々な方法で巧妙に収集されています。たとえば、塾や英会話教室等の案内のダイレクトメールを受け取ったり、電話で勧誘を受けたりすることがありますが、これは個人情報が事前に何らかの形で事業者に収集されていることによるものです。

(参考：実教出版、インターネット社会を生きるための情報倫理改訂版より)

● 肖像権 (詳細は情報モラル啓発資料「携帯電話全般2」を参照。)

肖像(人の姿・形及びその画像等)がもちうる人権のこと。大きく分けると人格権と財産権に分けられます。

人格権・・・被写体としての権利でその被写体自身、もしくは所有者の許可なく撮影、描写、公開されない権利です。すべての人に認められます。

財産権・・・著名性を有する肖像が生む財産的価値を保護する権利です。タレント等の有名人に認められます。一般にパブリシティ権と呼ばれます。

<事例>

【事例1】千葉の少年殺害、プロフに詳細記述(2007年4月12日)

今年2月、千葉県香取市のため池で、同市の溶接工の男性(18)が他殺体で見つかった。この事件で、被害者のプロフには、まだ容疑者が捕まっていないうちから、犯人を名指しして、「グループの少女をめぐるトラブルから、暴行を受けて池に落とされ殺害された」といった犯行の経緯や動機と思われる記述が詳しく書き込まれていた。事件では8人が逮捕され、捜査当局の調べで、プロフの記述内容は事実とほぼ一致することが判明した。被害者のプロフには、容疑者自身のプロフへのリンクがあり、それをたどると容疑者数人の顔写真を見ることもできた。

【事例2】なりすましでウソの書込み／プロフで援助交際(2007年4月12日)

今年4月、東京都で、第三者が実在する男子中学生になりすまして、「自分は同性愛者である」とするウソのプロフを作り、被害者を苦しめる事例が発生した。また、第三者が実在する女子高生になりすまして、写真付きのプロフを作り、「この子を集団暴行しませんか」と呼び掛ける書込みの事例も発生した。さらに、自分のメールアドレスや顔写真を公開し、援助交際の相手を勧誘する中高生も後を絶たない。

【事例3】わいせつ画像掲載で摘発(2007年2月)

今年2月、神戸の女子中高生ら6人が自らのわいせつ画像をプロフに掲載し、わいせつ図画公然陳列罪等で兵庫県警に検挙された。自らのプロフへのアクセス数が増え、ランキングが上がっていくのが楽しかったと供述している。自分の裸の写真を平気で携帯サイトに投稿する中高生は後を絶たない。

【事例4】女子中学生ら男子中学生をリンチ(2007年12月20日)

警視庁少年事件課は、携帯電話の自己紹介サイト(プロフ)に「学校に来るな」、「ブス」と悪口を書き込まれたことに腹を立て、男子中学生2人に暴行を加えてけがをさせたとして、傷害の疑いで女子中学生5人を含む14～16歳の少女9人を逮捕、13歳の少女1人を児童相談所に送致した。